

科目名		単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
歴史総合		前期	1	1年次	必履修	12	2	3
		後期	1			12	2	3
使用教科書		東京書籍 701 新選歴史総合						
科目の概要		近現代を中心に、色々な地域の歴史を学習する科目です。世界に目を向け、他の国々がどのように進んでいこうとしているかに注目し、それぞれの国の歴史や文化の違いを知るとともに互いの関連を考えることを目標に学習をしていきます。						
年間 学習 計画	学習内容		学習のポイント			面接指導	添削課題	
	・歴史の扉 ・近代化への問い ・結びつく世界と日本の開国 (P7～P51)		○18～19世紀に、アジアとヨーロッパの間でどのような国際関係が築かれていったのかを学びます。 ○アヘン戦争を機に、東アジアは世界の資本主義経済の中へ組み込まれていったことを学びます。 ○産業革命の波及により、欧米や中国・日本などアジアでも工業化が進み新しい産業が発展したことを学びます。			前期 1～4	No.1	
	・国民国家と明治維新 ・近代化と現代的な諸課題 (P52～P83)		○市民革命により仕組みが変わり、ナショナリズムと自由主義運動が革命や独立運動につながったことを学びます。 ○明治維新における日本社会の変化と東アジアの国際関係について学びます。 ○列強の帝国主義政策、日本は日清・日露戦争を通して植民地支配を進めたことについて学びます。			前期 5～8	No.2	
	・国際秩序の変化や大衆化への問い ・第一次世界大戦と大衆社会 (P84～P111)		○第一次世界大戦が総力戦であり、ヴェルサイユ・ワシントン体制という国際秩序が形成されたことを学びます。 ○ソ連の成立により社会主義運動が世界に広がり、アメリカでは現代資本主義の特徴があらわれたことを学びます。 ○戦後、アジア・アフリカでは民族運動がさかんとなり、欧米や日本では民主主義が発展したことを学びます。			前期 9～12	No.3	
	・経済危機と第二次世界大戦 ・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 (P112～P141)		○世界恐慌の発生により、ファシズムが台頭し、国際協調体制が崩壊していったことを学びます。 ○日中戦争、第二次世界大戦がはじまり、これらが結びついてアジア太平洋戦争もはじまったことを学びます。 ○戦後、冷戦がおり、朝鮮・ベトナムなどは分断されるかたちで再編されていったことを学びます。			後期 1～4	No.4	
	・グローバル化への問い ・冷戦と世界経済 (P142～P169)		○冷戦が激化する中、第三世界の台頭がみられたこと、核戦争の危機や地域紛争の頻発について学びます。 ○第二次世界大戦後、先進国と開発途上国との経済格差が国際問題となったことを学びます。 ○欧米や日本の経済成長、地域連携により政治や経済の統合がはかられ、冷戦構造も変容したことを学びます。			後期 5～8	No.5	
	・世界秩序の変容と日本 ・現代的な諸課題の形成と展望 (P170～P197)		○先進国では新自由主義の経済政策が実施され、アジアでは経済発展がみられ格差が生まれたことを学びます。 ○冷戦の終結によって、地域紛争が中東で多発し、平和維持活動の役割が拡大していることを学びます。 ○グローバル化の負の側面によって壁にぶつかっており、持続可能な社会の構築が求められていることを学びます。			後期 9～12	No.6	
	評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）						
単位 修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各2時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各3回提出してください。 ・1年次で2単位修得します。							